

消費者教育体験型授業

1、目的

令和4年4月1日の民法改正により、成人年齢が引き下げられ、18歳で成人を迎えることとなります。そこで、国家・社会の形成者として現在から未来を担っていく公共の精神を育むことを目標に、その第一歩として、主権者・消費者教育の実施を行いました。

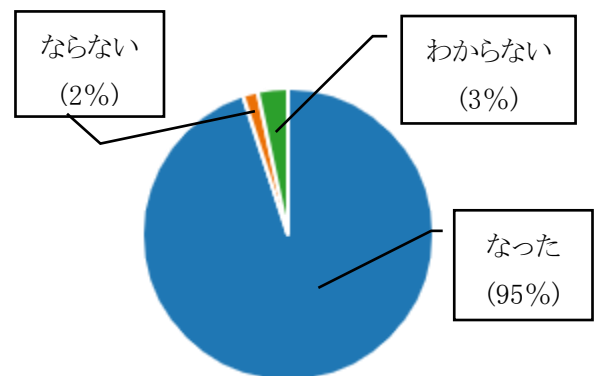
2、実施内容・プログラム

本校は職業高校として企業等との連携を進めており、本授業では第一生命保険株式会社(以下第一生命)の方と協力し授業を実施することになりました。令和3年7月13/16日に開催された体験型学習では、「大人になるとはどういうことか」を大きなテーマに決め、第一生命の方から人生ゲームに似せたボードゲーム型の学習教材を用意していただき、ゲームをしながらライフプランについて考えていきました。



[グラフ1]

今回の授業が今後の人生を考えるきっかけになったか？



(オンライン回答者 60人)

3、生徒の感想

生徒からの感想は概ね好評で、生徒自身による、授業に対する取り組み評価も、5段階中の4.23点でした。また、グラフ1のように今回の授業が今後の人生について考えるきっかけになったと答えた生徒が95%を超えており、主権者・消費者教育の一步として有意義な時間になったと考えられます。以下に生徒の感想を一部掲載いたします。

〈生徒の感想 抜粋〉



- ・今日の授業では、今後の人生のお金に関してとても考えられる授業でした。結婚の事や年収、色々な事を考えました。
- ・今後の人生を考えるのにとっても役立った。
- ・人生ゲームをやることでお金をもらえた喜びと、失った悲しみを知ることができた。
- ・とても楽しく学びました。ありがとうございました。クオリティの高い人生を送りたいとよりいっそう感じられました。

・今日の授業で自分の人生でのお金の使い方や就職する年齢、結婚する年齢、を初めて考えたので大切なことを学べてよかったです。